

## 奈良時代 (2) 天平文化

次の文章を読み、以下の各問いに答えよ。

奈良時代の都であるの平城京は、唐の都長安にならい碁盤目のように走る道路で区画され、中央の南北を通る ( a ) 大路によって東西に分けられている。東側を ( b ) 京、西側を ( c ) 京と呼び、薬師寺や ( d ) のためにつくられた①唐招提寺などの寺院は右京に、大安寺などの寺院は左京に分けられていた。さらに、もっとも東側に位置する ( e ) 京には興福寺などの寺院があった。この時期の文化を天平文化といい、貴族中心の仏教文化で国際色が強い文化となっている。( f ) 造で建てられた②正倉院には、( g ) を通じて伝わった西アジアやインドの文化の影響が見られるものもある。また、この時期には、③歴史書や地理書、歌集などもつくられた。

【1】文章中の ( a ) ~ ( g ) に適する語を入れよ。

【2】文章中の下線部①について、唐招提寺は次のうちどれか。記号で答えよ。

ア



イ



ウ



【3】文章中の下線部②について、正倉院に収められているものとして適するものを、次の中から1つ選び、記号で答えよ。

ア 螺鈿紫檀五絃琵琶 (らでんしたんごげんのびわ)      イ 玉虫厨子 (たまむしのずし)

ウ 天寿国繡帳 (てんじゅこくしゅうちょう)      エ 吉祥天像 (きちじょうてんそう)

【4】文章中の下線部③について、このころにつくられた地方の産物や地理・伝説などをまとめた書物を何というか。

### 解答欄

【1】 a :                      b :                      c :                      d :                      e :                      f :

g :

【2】

【3】

【4】